

平成24年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課

施設名称	〔35〕 東京都台東区立東上野乳児保育園					
指定管理者の名称	社会福祉法人康保会	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	大正9年に「浅草会館」として設立。昭和13年に社会福祉法人となり、昭和16年に「康保会」と名称を変更。保育園、保育所、乳児院のほか診療所を運営している。					
(2)類似施設の管理実績	康保会保育園、康保会乳児保育所、東上野乳児保育園、康保会玉淀園（乳児院）					
(3)経営状況	（23年度決算）事業活動収支 収入 881,634,285円 支出 840,494,053円 収支差額 41,140,232円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区東上野4-22-3					
(2)設置目的	児童福祉法の規定に基づき、日々保護者の委託を受けて、保育に欠ける乳幼児を保育するとともに施設及び設備の維持管理を行う。					
(3)利用者	60名（0歳児20名、1歳児20名、2歳児20名）					
(4)開館日・時間	開館日：295日、 保育時間：7時～18時（延長保育20時まで）					
(5)規模	地下1階地上8階（台東保健所併設） 保育園分：1、2階の一部（占有面積 678.08㎡）					
(6)人員体制	29人 施設長（1）、保育士（20）、看護師（1）、栄養士（2）、 調理員（1）、用務員（1）、嘱託医（1）、パート（2）					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	公設民営保育園として施設及び設備の管理業務を行う。					
(2)自主事業	自主事業は行っていないが、公立保育園と同様に延長保育や、中学生の職場体験・実習生の受け入れを行っている。					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	160,342,900	158,905,980	161,771,310	163,528,860	163,064,160
	料金収入等	730,000	1,100,000	700,000	700,000	700,000
	管理経費	161,072,900	160,005,980	162,471,310	164,228,860	163,764,160
決算	委託料	159,576,146	163,069,770	162,037,075	169,086,980	163,800,535
	料金収入等	1,061,600	1,198,700	711,800	657,700	541,900
	管理経費	160,637,746	164,268,470	162,748,875	169,744,680	164,342,435
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	
定員	人	60	60	60	60	
開館日数	日	294	294	294	295	
保育時間（延長保育含む）	時間	3,822	3,822	3,822	3,835	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 （25年度）	21年度	22年度	23年度	
入所児童数（各年度4月1日現在）	人	60	60	58	57	

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み

委託料については前年度の事業実績を基に積算し、執行についても適切に行っている。  
 また、保育に支障のない範囲で節電を行い、昨年度よりも光熱水費を抑制している。  
 毎年実施している利用者調査では、施設の不具合等の指摘事項を把握し、速やかに改善するなど保護者の声を反映している。

8. 評価項目  
 3: 協定等の水準を上回っている。 0: 協定等の水準を下回っている。  
 2: 協定等の水準どおりである。 -: 評価対象外項目。  
 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数の目標達成 [2]			
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)経費縮減のための取組み [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価  
 S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	関係法令を遵守して事業を運用しており、配置人員については、最低基準以上の職員数を確保している。また、備蓄用の水・米・ミルク・カセットコンロ等を購入し、災害に対する備えを強化している。
(2)施設の維持管理	A	施設管理に必要な経費は、区の予算の他、当該施設の運営費からも支出するなどして点検や修繕を適切に行っている。
(3)利用者の満足度	A	年1回利用者調査を行っており、例年高い評価を受けている。また、区にも運営に関する利用者からの苦情は寄せられていない。
(4)歳入歳出	A	施設ごとの経理区分を設けるなど、社会福祉法人会計基準に基づき適切に処理されている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

<b>妥当</b>	利用者からの指摘事項の改善や、震災後の災害対策に速やかに取り組み、園児や保護者の目線に立った運営をしている。それによりサービス利用者から高い評価を受けている。
-----------	---------------------------------------------------------------------------------

11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応

今後も、多様化する利用者ニーズに適切に対応するとともに、保育の質の向上を図るため引き続き事業者と連携し、適切な施設運営を進めていく。その中で、より効率的・効果的な保育園運営を行い事務費などの抑制を図っていく。